

出水市 行政改革推進委員会 議事録

会議名	令和3年度 第2回 出水市行政改革推進委員会 第二部会
開催日時	令和3年9月6日 午後6時30分から
開催場所	出水市役所 本庁3階 201会議室
委員の出席状況	税所委員（出席） 内野委員（欠席） 三浦委員（出席） 畠中委員（出席） 矢野委員（出席）

◆ 会次第及び会議要旨

事務局	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 企画政策課長</p> <p>3 議事 ○文化の振興</p>
部会長	<p>それでは、早速「文化の振興」から、皆様の意見を求めたいと思います。 何かございませんか。</p>
委員	<p>資料「指標に紐づく事業」に、「見直し方針」とあるが、この意味は、手段を見直すという意味なのか、それとも事業そのものを見直すという意味も含むのか、整理したい。</p>
委員	<p>併せて確認したいが、「総合評価」がAのものは、課題はないということで、何もしなくて良いという捉え方をして良いのか。</p>
事務局	<p>「総合評価」は、あくまでも所管課の評価となる。 Aだからその事業が良いとか、Dだから悪い事業ということでもない。 何か新しい事業をする際、資源は限られるので、場合によっては事業の廃止や統合を検討したり、コストを削減したりする必要がある。 事業そのものも見直しも含むし、総合評価に左右されず、ご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>「関与性」について、例えば「青少年文化活動支援事業」は9となっているが、市は関与していないのか。</p>
事務局	<p>「関与性」について、少し説明させていただくと、基本的に現時点では、全て市は関わっています。 その上で、1は法定事務等、全市民に関わるもの、9は特定の市民や団体を対象としたサービスで対象者以外の第三者にも受益が及ぶような、民間でも提供可能なサービスとなります。</p>
委員	<p>総合評価は、所管課で「きちんとできている」と判断していればAがついていると。</p>
事務局	<p>Aではない課題はありと評価している事業も、まだ向上させられるという、所管課の前向きな姿勢を示しているとも言える。</p>
委員	<p>「見直し方針」に記載されている「事務の効率化」は、具体的にどういう意味か。</p>
事務局	<p>「事務の効率化」と記載している箇所も含め、網掛け部分は、委員の皆様から意見をいただく際に、参考にしていただくため、事務局で仮に示させていただいている。 具体策を決めているわけではない。 例えば、「文化財保護対策事業」は、指標「継承・活動している無形文化財の数」の評価</p>

委員	<p>は×でマイナス2点となっているので、もう少し改善が必要。</p> <p>そこで、紐づいている事業を見直さないといけない。</p> <p>所管課は、「文化財保護対策事業」の総合評価をAとしているが、指標の評価点は低い。</p> <p>「性質区分」は法定であるが、「関与性」は8で事業内容に任意性が高いため、事務局として見直し方針にコメントを記載している。</p> <p>「伝統的建造物群保存対策事業」は、法定で市がしないとけない事業であるが、資源をどこからもってくるかを考えたとき、事務の効率化で捻出できないか、あくまで見方の例としてお示ししている。</p> <p>第1回目でも質問したが、コロナ禍において、「継承・活動している文化財の数」が昨年度8団体しかなかった。</p> <p>中々難しいとは覆うが、これは大事にしないとけない。</p> <p>活動は継続してほしいが、実際やる人達が（コロナで）躊躇している。</p> <p>ここを評価するのは難しい。</p> <p>時機がくれば（コロナが終息すれば）、活動も活発化すると思うので、所管課の総合評価Aは納得できるが、議論をするのが非常に難しい。</p>
委員	<p>大川内のコミュニティや、上場地区でも活動は盛んだが、若い方はコロナに関係なく参加が少ない。高齢者ばかり。それでも活動している。</p>
委員	<p>コロナがなくても難しい事業もある。</p>
委員	<p>第1回でも指摘したが、切り分けて話ができないかと思う。</p> <p>自分は、高齢者の意識が二極化していると感じる。</p> <p>自分は子育てから今まで御恩返しの意味で、行政の支援もいただかず活動してきた。</p> <p>もう一方は、「今まで頑張ったのだから。」として、支援は受けるだけ、という意識の方がいる。</p> <p>生涯事業で習う方はいても、ただスキルアップを自分のものとして、地域に返すという意識が薄い。</p> <p>私は福岡や南九州で高齢者のいろいろな活動も見てきたが、二極が見られる。</p> <p>公共サービスを「無料で当たり前」と思っており、意識を高めるためにはどうしたら良いか。</p>
委員	<p>（その問題は）どの事務事業にも関わってくるので、改善策を検討して欲しい。</p>
委員	<p>文化会館・音楽ホールの入館者数がコロナで減っていると思うが、この見直し方針が、「事務の効率化」となっている。</p> <p>利用者の増と、どう関係してくるのか分からない。</p>
事務局	<p>この事務事業だけで、捉えるものではなく、考え方としては、指標がマイナスとなっている同施策内で、所管課も改善の必要性を認識している（C評価）事業について、人的コスト削減等、効率化することで、マイナス評価を改善するための原資としたい、ということになる。</p>
委員 事務局	<p>評価方法、言葉の意味を改めて整理して欲しい。</p> <p>第1回の資料から、9P「難度」は、Aが高い目標への挑戦、Bが積極的な取組みがなければ達成できない、Cが現状の取組を続けることで達成可能を意味する。</p> <p>10P「評価」は、2020年度の各施策の目標値と実績値の差から5段階（◎・○・△・▼・×）で評価、この難度と評価の組み合わせで、評価点は自動算定される。</p> <p>一つ今回の評価の注意点としては、「行政評価アンケート」の結果を指標としているものです。</p>

委員	このアンケートは、2020年度から開始したもので、実質的に来年度から評価が可能となるため、今回は一律ゼロで調整している。
事務局	行政評価アンケートの話が出たので、ついでに聞きたいが、問30で「地域づくりのリーダーとなって主体的に活動を行っている、又は行いたいと思いますか」の結果で、72.8%が「活動したいと思わない」と回答している。 この理由までは確認できないか。
事務局	アンケート自体設問数が多く、あまり多くなると回答率が下がるリスクもあり、そこまでは確認していない。
委員	アンケートで浮き彫りになった課題について、どうしたら良いか事業にも反映していかないといけない。
事務局	他の施策も併せ、一括してアンケートで評価している。 結果は、所管課へも返しており、結果を分析して事業に生かしていくことになる。
委員	ツル博物館の入館者は、コロナもあり減っているが、高速道路も開通するし、「いつてみようかな」という仕掛けが必要ではないか。
事務局	建設からどれ位経っているだろうか。 平成7年2月に、国のリーディングプロジェクト事業を利用して建築している。 築26年位になる。
委員 事務局 部会長	事務局で網掛けはしているが、「文化祭開催事業」には、見直し方針が入っていないが、必要性は指摘したが、見直し手法としては、所管課で検討して欲しいという意味。 他に皆様から何かございませんか。 なければ、次の「観光の推進」の審議に移ります。
委員	○観光の推進
委員	「ツル観察センター」については、前々から思っていることがあって、ここは早朝のエサやり等は、ツルがすごく集まって見ごたえがある。 ただ近くにいけないし、入れない。
委員	何かサービスを検討できないだろうか。
委員	自分は戦争ガイドなども経験しているが、(外からくる)お客様は、併せてツルを見たいという方もいて案内させていただくこともある。 (ツル観察センターの)屋上から見ると、迫力が違う。
事務局	何か新聞で見たが、今度そういったサービスを始めるのではないか。
事務局	ラムサール条約登録に向けた事業の一環として、早朝からツル観察センターの屋上を開放して観察できるようにすると聞いている。 それに合わせて一部改修も行う。
事務局	なお、ツル観察センターは平成2年3月に、ふるさと創生資金を活用して整備されている。
委員	「出水麓武家屋敷活用検討事業」とは、どのような内容か。
事務局	「施策評価シート一覧」の22Pの18に概要は記載している。 伝統的建造物群の活用に関してアドバイザーを招致し、民間視点での武家屋敷の活用方法を検討する。
事務局	「観光アクションプラン」を策定する際、(観光協会と特産品協会を合併して生まれた)観光特産品協会の立上げにも関わっているが、団体を作るのが先ではなくて、当該地区の空家解消であったり、残すため活用するために何ができるのか、検討していく事業です。
事務局	アドバイザーは、その検討の際にお願いしている。

委員	確かに「検討事業」ということですね。
委員	東川隆太郎さん等も招いて、戦争遺跡を回ったりする事業とも併せて取り組んでいる。
委員	評価と直接関係はないが、指標に紐づく事業に記載されている事業に番号をふって、評価シートとの突合をしやすくしていただくと助かる。
事務局	順番もバラバラなので、分かり難い。
委員	改善します。
委員	ウィズコロナを前提とするか、アフターコロナを前提とするかで、見直し方は大きく異なる。
委員	(アフターコロナであれば) 従来のような新幹線を利用した40人規模のインバウンド客や、アメリカの富裕層も多く訪問する。
事務局	(ウィズコロナであれば) オンラインを活用した事業にチャレンジしてみても良い。
委員	先行きは不透明。あと2年位でもとに戻るのか否か。
事務局	観光に関する事業は特にコロナの影響が大きいですが、目標を大きく下回る⇒設定した目標値にたどり着けない⇒進展していない、という評価であれば、ルールとしては、事業費を減らす。
委員	減らした中で、同施策内のどの事業にウェイトをかけて取り組むのが正しいのか、逆に多少事業費は縮小しても、成果が出るように取り組んでいくのか、出水市として判断していくことになるが、委員の皆様からも力をいれるべきか、いったん減らすべきか、市民目線での御意見をいただきたい。
委員	基本的に良い事業なので残して欲しいと思うが、ウィズコロナ前提では、実際に観光客増が見込めない事業もある。
委員	そういった事業の費用を減らすことは可能と考える。
委員	ただ、今回(コロナ禍の実績のみ)で、事業そのものをなくす必要はないのではないか。コロナによる短期的視点ではまく、長期的にみてどうかで判断して欲しい。
委員	評価シートの「施策に紐づく事業の説明」は、文字数が多い部分は、文章が途切れているものが多いので注意して欲しい。
事務局	確認し、後日差替えたい。
部会長	他に皆様から何かございませんか。
委員	なければ、次の「地域間交流・国際交流の推進」の審議に移ります。
事務局	○地域間交流・国際交流の推進
委員	意味を確認したが、「友好都市」と「姉妹都市」の違いは何か。
事務局	国内が友好都市で、北海道釧路市と山口県周南市。
委員	国外が姉妹都市で、韓国のスンチョンと台湾のプーリンチーです。
委員	スンチョンは韓国との交友事業でおもてなししたことがあるが、やはりコロナで現在はできていない。
事務局	聞きたいが、夏祭りは今後も続けるのか。
事務局	基本的には、各夏祭りの実行委員会で決めることになると思うが、現在市民や関係団体に参加いただいて「イベント再構築検討委員会」を設置し、今後のイベントのあり方を検討中です。
事務局	夏祭りについても当該検討委員会から意見はいただいている、イベントの多さから行政だけでなく民間も動員等の負担があり、現状をそのまま継続は難しいという認識は共通している。
事務局	夏祭りに対する意見としては、鶴翔祭は市の祭りとして観光イベントとして継続するが、

	<p>高尾野・野田の夏祭りは、地域イベントとしての色合いが強いため、ゆくゆくは地域で運営 いただいております。どうかといった意見をいただいている。</p> <p>最終的に実行委員会で決めることにはなるが、判断材料の一つとして検討委員会の意見 も踏まえて市（実行委員の一員）としては、協議することになる。</p>
委員	<p>確かに、コミュニティとしての祭りを、観光を目玉にするような、大きな祭りとの視 点で議論するものではない。</p>
事務局	<p>規模感というものは確かにある。</p> <p>高尾野・野田の夏祭りも、外部から全く人がこないわけではないが、ほぼ地元の祭りであ るとの意見がある。</p>
委員	<p>第1回目の会議でも指摘したが、所管課で統合を検討している「留学生PR事業」だが、 修学旅行生等を対象とした、国内事業（来て観て体農自味交流事業）とは、色合いが違 うのではないか。</p>
委員	<p>民泊関係を今後どうしていくのか。</p> <p>運用していく事業者の問題もあるが。</p>
事務局	<p>方向性は、まだはっきりとは決まっていない。</p>
委員	<p>ツルマラソンについて、今後の見通しは。</p>
事務局	<p>先程ご説明した「イベント再構築検討会」において、ツルマラソンも御意見をいただ いている。</p> <p>一つは、コースの問題があり、警察からは大きい道路を使用する場合は基本的には全 面通行止めでないといふ許可が難しい等、新たなコース設定・判断が求められてお り、そこも踏まえてツルマラソン実行委員会で検討している。</p> <p>実行委員会では、全面通行止めによる運営は、思った以上に障害になるとのことで、 今後の開催は困難ではないか、との意見も出ているようである。</p> <p>ただ、イベント再構築検討委員会においては、フルマラソンは残した方が良いので、 警察から許可を受けた新たなコースを設定して継続すべきとの意見であった。</p>
委員	<p>イベント再構築検討委員会でも、継続が望ましいとの意見であれば、何とかコースを 確保できれば良いですね。</p> <p>高速道路はもう使えないでしょうから。</p> <p>おもしろいコースだとは思いましたがね。</p> <p>東京マラソンみたいな都市部でも可能なので、違うコースを設定できるのでは。 予算規模も全く違うので、単純比較はできないが。</p>
委員	<p>高速道路を利用したコースは、応援が少なく寂しいという意見もあったと聞いている。 確かに二回走りたかと言われれば、微妙ですけど。</p>
委員	<p>九州オルレは、今後どうなりますか。</p>
委員	<p>九州オルレも、イベント再構築検討委員会で意見はいただいている。</p>
事務局	<p>取組を始めて間もないので、もう少しやってみた方が良いという意見だった。</p> <p>他に何か皆様から、御意見はございませんか。</p>
部会長	<p>なければ、まとめに入りたいと思います。</p>
事務局	<p>○まとめ</p> <p>頂いた意見を確認したいと思います。</p> <p>修正、補足するところがございましたら、御指摘願います。</p> <p>【文化の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「継承・活動している無形文化財の数」について、承継する団体の高齢化が進んでおり、

	<p>若い人は、コロナ以前から参加がない状態であり、課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の事業全体について、高齢者の意識が二極化している。 サービスを受けるだけでなく、知識や経験を地域に還元する意識を高める必要がある。 行政評価市民アンケートの結果を、しっかりと施策に活かす。 ツル博物館は、高速道路との動線を工夫し、将来建設予定の道の駅も活用して「行ってみたい」と思う取組が必要。 <p>【観光の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ツル観察センターは、(エサやり等見どころのある)早朝は中に入れない。 もったいないので、改善し利活用できないか。 ウィズコロナが続くのであれば、いったん休止やコスト削減等見直しの余地はあるが、指標の短期的な結果だけでなく、長期的視野で捉える(アフターコロナで再開も検討) <p>【地域間交流・国際交流の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏祭りを、観光目的とコミュニティ活性化の視点で分けて考えることは必要である。 農家民泊は、留学生を対象とした海外向けPR事業と、修学旅行生を対象とした国内向けと観光事業としては、分けて考えても良いのではないか。 <p>以上です。</p>
部会長	ありがとうございます。
委員	意見についてまとめていただきましたが、皆様から修正や補足はなかったですか。
部会長	少子高齢化が、どんどん進んでいますので、そこを考慮した行政運営に努めていただければと思います。
事務局	他にないですかね。 では、第二部会の審議は、本日これで終了します。 その他、事務局から何かございますか。 今回の審議を踏まえ、外部評価報告書を作成します。 これは、9月14日を予定している第一部会の2回目の結果も踏まえ、行政改革推進委員会として一括しての報告書として素案をお示しします。 委員の皆様全員へ配布しますので、御査収いただいた後、本年度の外部評価報告書とさせていただきます。 今後の、行政改革推進委員会ですが、昨年同様公共施設マネジメントの進捗状況を御確認いただく予定です。 また、検討段階ですが、第四次出水市行政改革大綱の審議も今年度可能であれば御審議いただきたいと思います。 事務局からは、以上です。
部会長	4 閉会
一同	他に皆様から何かございますか。
一同	なし
一同	それでは、行政評価に係る第二部会の審議を全て終了します。 ありがとうございました。
一同	ありがとうございました。